

研修先

かごしま有機生産組合(南薩センター)

所在地及び連絡先

南九州市知覧町西元5106

電話: 099-282-6867(本部)

<研修作物>

深ネギ
 ごぼう
 たまねぎ
 オクラ
 人参
 ズッキーニ
 レタス等



<新規就農を志した経緯・背景>

- ・地元高校を卒業後、兵庫県尼崎市の鉄鋼メーカーで20年間勤務し、自宅も建設したが、コロナ時に外出もままならない時、昼夜3交代のシフト勤務のため家族の体調不良や育児が重なり転職を考えた。
- ・子供の頃から祖父母の農業を手伝ったりして興味があったことから、思い切って故郷に帰って農業をやろうと決めた。
- ・日頃から食料を生産する農業について関心があったことから、環境に配慮した有機野菜があることを知り有機農業を目指すことを決めた。

支援策の活用例

- ・就農準備資金(年額150万円)を活用し、研修中の生活費、資材等を購入。
- ・就農後は、経営開始型、経営発展支援事業を活用する予定。

これまで苦労した点

- ・農業機械の扱いは初めてであったことから操作に慣れるまで苦労した。
- ・農業生産に関する技術が未熟なため、病害虫管理や、作物管理について不安を感じている。

研修して良かった点

- ・有機JAS認証取得レベルの技術を学べる事。
- ・サラリーマン生活と比べて収入は減少したが、規則的な生活ができていること。
- ・家族全員で朝夕の食事ができること。
- ・野菜嫌いの子供が、自分が作った有機栽培の野菜をおいしく食べられるようになったこと。

就農に向けた今後の目標(現在)

【研修期間】(令和6年9月~令和7年8月)

- ・直営農場での実習(3~6か月)を経てから就農地での有機農家の受入れによる実践研修を予定。
- ・有機農業有識者による学科、講習、勉強会の開催。
- ・農地、農業機械、農機倉庫、集荷場の譲渡等について行政、親戚関係者に相談中。

(将来)

【就農後】(令和7年9月~)

- ・複数多品目で有機JASの認証取得を目指す。
- ・当面労働力1人であることから、露地30~50a規模から始めたい。
- ・出荷先は、かごしま有機生産組合、地元直売所(道の駅、グリーンファーム)を予定。

就農を目指す方へのアドバイス

- ・当初転職について相談した際、家族から猛反対されたが、粘り強く説得し最終的に家族の理解を得られた。
- ・「農業をやりたい」、「農業に興味を持っている」という強い思いがあるのであれば、なるべく早く家族、両親、友人等へ相談して助言を受けるべき。
- ・県外から転職して農業を始める場合、移住が必要であるが、家族が多いと適正な広さの住宅物件も見つかりにくいので行政等へ早めに相談すること。